

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方(令和5年度第1回)

番号	意見	当日の回答	担当課
こども青少年部会			
1	<p>人権課題は多岐にわたっているが、これらの中で満足や納得している課題と、そうでない課題は何か教えてほしい。</p>	<p>区政モニターアンケートの結果において、人権啓発事業は役立っていると理解されていますが、「一人ひとりの人権が尊重されているまちであるか」については目標より低い結果であり、課題別の結果については、調べたうえで、結果があればお示しさせていただきます。</p>	
2	<p>外国からの流入も多い中、メジャーな言語でない方とのやり取りにポケットクやアプリを使うことで、より細かい内容を伝え合うことができるが、そのようなツールを区役所としてどのように活用しているか。</p>	<p>中学校の幹事校長からもそうしたツールを学校で使えるように要望をいただいたところでもあり、できる範囲で対応を考えてまいります。 また、地域で暮らす外国人の方や地域の方に、使い方を覚えてもらい避難訓練に活かすなどさまざまな使い方が考えられるので、予算の兼ね合いもありますが、調査してまいります。</p>	
3	<p>学校適正配置の関係でPTA役員等のご意見交換の報告として、築港小、築港中は、「築港地域に残してほしい」や「通学路の問題」の意見があり、小学校では「非常に大きな車が通る中を運河を渡り通わせる不安」の声があった。 また、築港地域に生徒を集める方法として「支援学級の生徒への手厚い支援」や「中学校でインターナショナルスクール、小学校での幼稚園などの併設検討」などの意見もあった。 港中では、通学路の問題や地域との問題について意見が出された。 自分の子どもたちのいる間には実現しないことが問題であり、早く案を示してほしいこと、また今後、入学してくる子どもたちが、統合案の情報を元に選ばれるようお願いしたい。</p>	<p>夏休み期間に予定している説明会では、保護者、未就学児の保護者を含め幅広くご意見を伺いたいと思っています。 学校適正配置の課題は、児童生徒の数だけでなく、教員不足も大きな課題であり、単学級で隣のクラスがなく先輩教員から教えて貰うOJTができず若い教員を育成できなくなっています。若い教員が足りず、年配の教員が再任用で頑張って現場で働いていますが、子どもたちと一緒に走り回ることができない状況です。 学校再編に反対の方もおられますが、再編していかねばならない裏側にはこうした教員の状況を知っていただきたい、そうした視点からもご理解いただきたいと思っています。</p>	協働まちづくり推進課 (教育・人権啓発)
4	<p>「学校園における働き方改革」に部活動指導とあるが、ニュースで中学校の部活を外委託すると聞いた。自分の子どもはクラブチームに入っており、全国大会に向けた大阪府予選ではクラブチームの参加が増えており、学校の部活動でなく外部のクラブチームが増えている。 港区でも、部活動がない中学校もあるので、区内にクラブチームを作るなどの取組みについてお聞きしたい。</p>	<p>昨年度(令和4年度)のこども青少年部会でもご説明しましたが、文科省では中学校の部活動の地域移行が検討されています。教育委員会では、文科省から示される具体的な方針を踏まえて、具体的に検討していくこととしていますが、現時点ではそこまで至っておりません。クラブチームについても、こうした方針に則って、部活動の地域移行と一体的に検討する必要があると考えております。</p>	

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和5年度第1回）

番号	意見	当日の回答	担当課
防災・防犯部会			
1	<p>若い男性が急に家に訪ねてきて「家の基盤が緩いので工事をしないと倒壊する恐れがある」といわれ、翌日に工事をする事になったという事案があった。工事前に当該人から相談を受け、工事当日に同席し、問い質したところ、あきらめて立ち去った。</p> <p>こういった場合、どこへ相談すればよいのか。また有効な対応策があれば教えてほしい。</p>	<p>少しでも怪しいと感じたら警察もしくは区役所へ相談してください。また契約してしまった場合でも、クーリングオフといった解約できる制度もあるので、そういった場合は消費者センターへ相談してください。</p>	協働まちづくり推進課 (安全・安心)
2	<p>身近でラインが乗っ取られてグーグルカードを購入させようとした事案があった。こういった事案は広がっているのか。</p>	<p>(港警察から回答) サポート詐欺は多発している傾向にあります。</p>	
3	<p>昨年度はコロナ禍でもあり、避難所開設訓練を実施できていない地域もあったが、どこの地域が地域住民を集めて実施したのか。</p>	<p>南市岡と港晴です。それ以外で実施した地域は、役員など少人数で実施しました。</p>	
4	<p>自転車利用時のヘルメット着用について、女性はヘアスタイルの崩れや日焼けを嫌って敬遠される傾向にある。一方で日焼け防止のため縁のついたヘルメットを注文したが入荷待ちの状態であった。自転車を下りた後のヘルメットの保管場所や方法について工夫がされるようになれば、着用される方も増えてくるのではないかと思う。時間はかかると思うが、ヘルメットの重要性は伝わっているのではないかと思う。</p>	<p>(ご意見のみで回答なし)</p>	
5	<p>ヘルメットの購入にあたって、最低限こういったものでないといけないといったことがあれば教えてほしい。</p>	<p>SG基準といった規格があります。また正しくヘルメットを着用することも重要です。</p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月11日に開催された防災マルシェをきっかけに介護事業所と企業がつながり、発災時に企業施設を避難場所として提供していただけることになった。このように横のつながりができてくれば、指定された避難所へ行くより迅速な避難が可能となる。今年度も防災マルシェのような企画をしていただけたらありがたい。 ・ 福祉施設では地域との交流イベントや施設の一部を開放する活動も行われており、顔の見える関係性ができればお互いの助け合いにもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マルシェについては、12月に開催する予定です。企画については、いただいたご意見を踏まえ検討していきたいと思えます。 ・ 福祉施設と地域との交流イベントなどについて、情報を提供いただければ、防災面でどういったことができるのかといったことについて検討していきたいと思えます。 	
7	<p>個別避難計画の作成について、時間がかかったと聞いているが、具体的にどういったところが大変なのか、こういうことができていけば進めやすいといった点について教えていただきたい。</p>	<p>作成当初は、決められた様式で聞き取り項目が多かったため時間がかかりましたが、現在は、様式を簡略化し必要最小限の聞き取り項目に改め、時間の短縮を図りながら進めているところです。それぞれの地域実情も踏まえ、地域にもご理解、ご協力をいただきながら進めていきたいと思えます。</p>	

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方(令和5年度第1回)

番号	意見	当日の回答	担当課
8	外国人の方のごみの出し方について、ルールどおりに出されていないため、カラスがちらかすといった事例がある。ごみの出し方について、いろいろな言語で説明されているようなものがあればいいのではと思う。	外国語による、ごみの出し方、分別について説明した資料があります。英語、中国語、韓国語、ベトナム語の資料があり、市民の方にもお配りしています。	
9	大雨で河川氾濫が起きそうな場合、防災スピーカーで知らせる基準について確認しておきたい。	大阪市が警戒レベル3を発令した場合、防災スピーカー、区のホームページやSNSの広報媒体で避難に関する情報をお知らせします。	協働まちづくり推進課 (安全・安心)
10	<ul style="list-style-type: none"> 台風時に事前に避難所を開設する基準はあるのか。 (平成30年の)台風24号の時に中学校を避難所として開放したが、その時はどのような基準であったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 台風時に事前に自主的な避難所を開設する基準はありません。その時々状況判断によりますが、例えば、区役所から地域に依頼して地域集会所を開放していただいたケースはあります。 (平成30年の)台風24号が上陸した際は、その時の状況判断で中学校を避難所として開放しました。 	
福祉部会			
1	認知症の啓発について、中学生などの若年層に向けて啓発することで、家族にも伝わるなど、非常に有効なことだと考えている。認知症の福祉教育に取り組んでいる学校は、まだまだ少ないように思います。区社協としても普及に取り組めますので、ご協力を依頼します。	(ご意見のみで回答なし)	
2	子どもの居場所事業は小学校にしか周知してなくても、未就学児や地域外の人も来る。その中で気になる親子を見かけることもあり、そのような場合、支援、相談について行政とどのように連携すればよいでしょうか。	ここ数年、コロナの影響で事業の中止などがありましたが、現在は、子育てに関する事業を再開しています。多くの方が参加できるよう、効果的な周知を検討します。また、気になる家庭、児童の相談は子育て支援室に連絡いただければ、連携を図ります。	
3	特に障がいのある人に拘っている訳ではないが、障がいのある人が暮らしやすい世の中になれば、誰もが暮らしやすい地域になると考えています。令和4年度の区民モニターアンケートで実施していただいた「障がい者差別解消法・障がい者虐待防止法」について、もっと地域の人に認知してもらえるように、一緒に取り組んでいただきたい。	区民モニターアンケートの調査結果では、半数以上の方が「障がい者差別解消法・障がい者虐待防止法」を知らないとの結果となっていますが、法律として「知っている」「知らない」ではなく、この法律の趣旨や行政の取組みを一般の方に分かりやすく周知し、理解を求めていくことが重要だと考えていますので、関係機関と協力しながら周知に努めます。	保健福祉課
4	福祉いろいろガイドブックには、色々な情報が記載されており有用なものと思うが、障がい者や実際に生活に困っている人が、この情報に辿り着き活用できるのかというところが疑問である。相談員が見るならいいが、困っている人がそれぞれの情報に辿り着けるだろうか。	今回、ガイドブックを発行させていただいた目的は、第一に学校関係者や支援者にこの情報を知ってほしいと思いつくしました。まずは支援者にこの情報を知っていただくことをきっかけとして、困っている方々にも情報が届くよう、改良を加えていきたいと考えています。	
5	福祉いろいろガイドブックには修学支援について、市の福祉資金の貸付と、社会福祉協議会の教育支援資金の貸付が掲載されているがどちらを優先させればよいか。	制度には同種のものがある場合があります。担当で区民の方のお話を聞き、その方にとってどちらが良い貸付制度なのか、ご案内できればと考えます。区と社会福祉協議会の双方が制度を知り、連携しながら、その方に合った支援に繋がっていきたく考えています。	